



▲今シーズンの無事故を願い関係者でテープカット

## 「喫茶 キャンドル」 一夜かぎりの素敵な夜を

只見スキー場オープニングイベントとして12月21日に「喫茶キャンドル」が行われました。「100万人のキャンドルナイト in 只見」実行委員会の主催のもと、ロッジの中やゲレンデまでたくさんのろうそくやキャンドルが飾られ、只見スキー場は美しく幻想的な風景となりました。訪れた人は食事などをとりながら温かくスローな夜を楽しみました。

## 只見 雪の量も十分 見スキー場がオープン

只見スキー場のオープン式は12月20日にスキー場ロッジで行われ、多くの関係者が出席しました。目黒町長は「観光客にも安全で楽しんで頂けるスキー場になるようスタッフが準備を進めてまいりました。また、ゲレンデの利用だけではなく多くの方にレストランも利用して頂きたいと思います」とあいさつし安全祈願とテープカットが行われました。



▲幻想的なろうそくの明かりがスキー場を包みしました

## ク 朝日地区センターで クリスマス会とフリーマーケット

12月1日に毎年恒例となっている朝日地区センターのクリスマス会が行われました。今年もたくさんの子供たちが集まり歌やゲームなどして少し早めのクリスマスを楽しみました。

また、今年はフリーマーケットも同日開催され、子供の衣類など多くの商品が並びクリスマス会に子供を送ってきた保護者などに好評でした。



▲サンタさんから良い子のみんなへプレゼント

## 買 大好評だった い物支援バス!!

12月25日、明和自治振興会と明和地区センターの共催で「買い物支援バス」が行われ、布沢・坂田などから20名の方がバスを利用されました。この事業は交通手段がなく買い物などに不便を感じている方に試験的に行われたもので、利用者は買い物だけではなく、郵便局やJAで用事を足したり、散髪などもされていました。

今後は、内容を再度検討し、さらに利用しやすい方法での実施を予定しております。

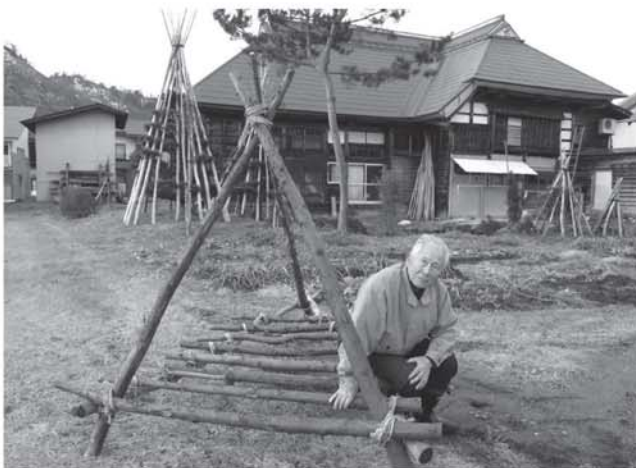


▲時間を気にせずゆっくりと買い物が出来ました



## 「カリヤス」が完成

只見字原の新国博之さんは、このほど只見川で使っていたカリヤスを作りました。水路に水を引く大堰普請という集落総出の作業が、昭和30年頃まで行われていました。カリヤスは、堰普請の際、川をせき止めるために使われる道具です。新国さんは、只見川水害記録誌の資料とするため、当時と同じカリヤスを作り、教育委員会に寄贈されました。カリヤスは使い捨てられるものなので、現物を見るのがむずかしいのですが、民俗資料としてたいへん貴重なものです。



▲完成したカリヤス

## 「カジゴ焼き」を再現

秋も深まってくると、山々からカジゴ焼きの煙が立ち上ったものです。カジゴは堀コタツに使う炭で、昭和40年代までさかんに焼かれていました。しかし、練炭や豆炭、そして電気コタツが普及してからは使われなくなってしまいました。

そのため、カジゴ焼きを記録に残そうと、福島県農林水産部が只見町のカジゴ焼きを映像に収めました。蒲生の三瓶利之さんと三瓶栄一さん、八木沢の矢沢一男さんの協力を得て二日かかりで収録されました。むかしのようにな適切な場所や材料となる柴が少なく手間はかかりましたが、無事に成功。この映像は、平成26年4月から福島県森林環境税ホームページで見ることができます。



▲再現されたカジゴ焼き

## 伊 人権作文コンテスト 藤 舜さんが入賞

第33回中学生人権作文コンテスト福島県大会で、只見中学校3年の伊藤 舜さんが奨励賞を受賞され、12月11日に只見中学校で表彰状の贈呈式が行われました。また、只見中学校も人権思想の普及に対しての成果をおさめたことが認められ感謝状が贈呈されました。



▲只見中学校で受賞式後の記念撮影

## 少 只見剣道スポーツ少年団 年剣道教育奨励賞を受賞

只見剣道スポーツ少年団は、全日本剣道連盟より少年剣道教育奨励賞の表彰を受けました。これは、少年剣道の指導面に対して評価されるもので大会などの成績とは関係なく、剣道の指導活動を続け地域の剣道を支えている団体・組織等に対して表彰されるものです。

2013年度の県内の受賞は、只見剣道スポーツ少年団のほか5団体が受賞しています。



▲受賞おめでとうございます